

鳴教かわら版

Narukyo-Kawaraban Vol.2

教師教育のリーダー大学を目指す



第7代鳴門教育大学長に 山下一夫学長が就任

第7代鳴門教育大学長に山下一夫学長が就任した。

学長就任にあたっては、「教職員と対話し、大学をよりよい方向に導きたい」と、教職員一丸となって、大学改革に望む方針を示し、「これからも教師教育のリーダー大学を目指し、人間愛・使命感に支えられた教員を養成する」と語る。

学長プロフィール

山下 一夫 (やました かずお)

京都大学大学院

教育学研究科単位取得後退学

博士(学術), 臨床心理士

鳴教大理事・副学長を経て, 現職。

任期は平成32年3月31日まで

鳴門教育大学 執行部及び副理事紹介



大石雅章 理事
(教育・研究担当)



佐古秀一 理事
(入試・社会連携担当)



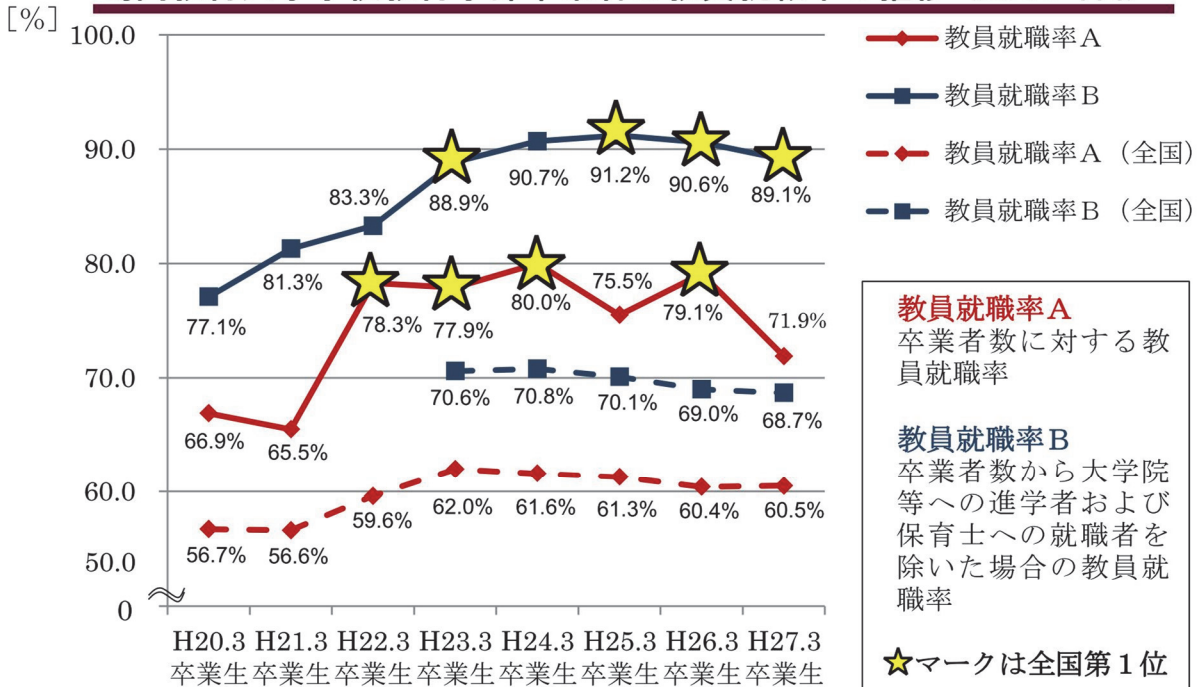
岩切健一郎 理事
(総務・財務担当)



梅津正美 副理事
(大学改革担当)

学部教員就職率 6年連続 (※) 全国第1位達成

鳴門教育大学学校教育学部卒業生の教員就職率の推移 (過去8年間)



(※)平成22, 23, 24年の3年間の教員就職率 (全学生対象) と平成25, 26, 27年の教員就職率 (大学院進学者と保育士就職者を除いたもの)を通算したもの

教職大学院教員就職率は2年連続100%達成!

文部科学省が公表した国立の教員養成学部・大学 (教員養成課程) の平成27年3月卒業生の就職状況において、鳴門教育大学は教員就職率**6年連続全国第1位**の栄誉に輝きました。

また、教職大学院教員就職率も、**2年連続全国第1位 (100%)**を達成。

更に、本学独自の取組である学校教員養成プログラム受講者も教員就職率**82.8%**と高水準を維持し、平成20年度の当該プログラム受講者第1期生から、**8期連続80%以上**を達成しています。

これは、学生個々の努力と、教員を志す者を応援する鳴門教育大学関係者のサポート体制があってのことです。

今後とも、鳴門教育大学は、大学院における現職教員の再教育を行う中核的な機関として位置付け、学校現場の諸課題に対応できる実践的指導力を備えた質の高い優秀な教員、「学び続ける教員」を養成することで地域・社会に貢献していきます。



ラーニング・コモンズでのグループ学習



就職支援室での模擬面接

BPプロジェクト(いじめ防止支援プロジェクト)シンポジウム(東京)を開催

シンポジウムに全国から約150人が参加

鳴門教育大学の呼びかけで平成27年4月に発足したBPプロジェクト(宮城教育大学, 上越教育大学, 鳴門教育大学及び福岡教育大学の4大学による協働参加型プロジェクト)のシンポジウムが東京都で開催され, 全国からいじめ問題関係者, 教員, 学生など, 約150人が集まりました。

職員の資質向上を支援する画期的な取組

午前の部では, 来賓の義家弘介文部科学副大臣の挨拶, 坪田知広文部科学省初等中等教育局児童生徒課長による講演が行われ, 義家副大臣から本プロジェクトは「教職員の資質向上を力強く支援するものであり, 画期的な取組」と評されました。

続いて行われた午後の部では, 森田洋司鳴門教育大学特任教授による基調講演のほか, 阪根健二鳴門教育大学教授の講演, 更に協力機関代表として国立教育政策研究所の滝充総括研究官を招き, 4大学の代表者と現在最も注目度の高い「ネットいじめ」についてディスカッションが行われました。



阪根鳴門教育大学教授



義家文部科学副大臣



坪田児童生徒課長

平成28年度から鳴門教育大学いじめ防止支援機構新機構長に阿形恒秀教授, 同機構顧問に森田洋司特任教授が就任しました。



阿形 恒秀
いじめ防止支援機構長
(前鳴教大生徒指導支援センター所長)



森田 洋司
いじめ防止支援機構顧問
(鳴教大特任教授)

JICA四国と連携協定に係る覚書を締結

今後も開発途上国の教育力向上のために貢献していきたい

4月21日, JICA(独立行政法人国際協力機構)四国支部と, 開発途上国への国際協力の実施及び国際協力に資する人材の育成等を目的として, 相互の協力可能な分野において連携を推進するため, 連携協力の覚書を締結しました。

内容は, 国際協力に関連する講義等の実施, 開発途上国の要請に基づく大学での研修員受入, 大学教職員の現地への専門家及び調査団としての派遣など。

山下学長は「JICA四国支部と協力し, 大洋州, アフガニスタン, ケニア, フランス語圏アフリカ等の現職教員等を外国人受託研修員として受入れ, また, JICA専門家派遣として教職員を現地へ派遣してきた。本学がこれまで行ってきた経験を生かし, 今後も開発途上国の教育力向上のために貢献していきたい。」と意欲を示しました。



覚書を締結する山下学長(右)と高橋JICA四国支部長



【PR】鳴門教育大学は, 平成27年度JICA受託研修事業【教育関連分野(課題別研修, 国別研修)】受託件数が全国第1位(※)です。

(※平成27年9月JICA照会)

第19回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省ほか)で優秀賞を受賞

鳴門教育大学は、環境省及び一般財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「第19回 環境コミュニケーション大賞」の環境活動レポート部門において、優秀賞を受賞しました。

鳴門教育大学はエコアクション21の取組をまとめた「環境活動レポート」を毎年公表しており、平成26年度の環境活動レポートを応募したところ、同賞の受賞となりました。

鳴門教育大学は、エコに対する取組や教員養成大学らしい人材育成の取組などについて、今後もPDCAを回していきます。



第1回鳴門リレーマラソンIN鳴門教育大学が開催されました。

鳴門教育大学において、平成28年2月7日(日)に第1回鳴門リレーマラソンIN鳴門教育大学が開催されました。リレーマラソンは、鳴門市との協働で開催され、1チーム5~20人の仲間が1.1kmのコースを37周し、タスキを繋いで42.195kmを走る周回型のマラソンイベントで、就学児童から高齢者までおよそ600人のランナーが参加し、全61チームが無事完走しました。

本事業には、実行委員会に本学の教職員および学生が参画し、多くの学生がボランティアとして大会運営を支え、力走するランナーに絶え間ない声援を送っていました。

地元の一般市民や企業関係者、更に県外の大学関係者なども参加した本事業は、世代を超えた絆作りによる地域の活性化やまちづくり、さらには新しい観光価値の創造を図る取組として期待されています。

(PR)

第2回鳴門リレーマラソンIN鳴門教育大学が平成28年11月6日(日)に実施が予定されています。



平成29年度入試関係日程

- ・大学院学校教育研究科

選抜方法	出願期間	試験日	合格者発表日
前期選抜試験	7月8日(金)~7月19日(火)	8月18日(木)	9月9日(金)
中期選抜試験	10月26日(水)~11月4日(金)	11月26日(土)	12月9日(金)
後期選抜試験	2月2日(木)~2月9日(木)	3月4日(土)	3月17日(金)

- ・平成29年度学部入試日程は7月下旬に公表予定です。

鳴教かわら版 (vol.2) 2016年6月発行
 鳴門教育大学経営企画本部
 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
 電話: 088-687-6000 FAX: 088-687-6040
 URL: <http://www.naruto-u.ac.jp/>

鳴門教育大学(公式)
 YouTubeチャンネルを
 開設しました。



平成28年2月に鳴門教育大学公式YouTubeチャンネルを開設しました。

鳴門教育大学トップページのバナーからアクセスして様々なコンテンツを御視聴いただけます。